

岡崎西尾地域広域化ブロック会議のこれまでの経緯

令和2年2月4日

【広域化の背景】

平成7年頃よりごみ焼却炉からのダイオキシン発生が社会的に問題視されるようになり、ごみ処理に伴うダイオキシン類の排出削減が求められた。

【国の動き】

平成9年1月

「ごみ処理に係るダイオキシン類発生防止等ガイドライン」を策定し、既存のごみ処理施設に係る対策と、新設のごみ焼却炉に係る対策（ごみ処理の広域化等）を示した。

平成9年5月

「ごみ処理の広域化計画について」の通達により、ダイオキシン削減対策、リサイクルの推進、最終処分場の確保対策、公共事業のコスト縮減等の課題に対応するため、ごみ処理の広域化について検討し、広域化計画を策定するよう各都道府県に求めた。

【愛知県の動き】

平成10年10月

「愛知県ごみ焼却処理広域化計画」を策定。県内を13ブロックに区割りし、1日あたりの焼却能力300トン以上の全連続炉への集約化を目指すこととした。

平成21年3月

市町村合併やごみ処理技術の進歩、ごみ処理に関する各種法令の制定などの社会情勢の変化を受け、広域化ブロックの区割りを含めて「愛知県ごみ焼却処理広域化計画」の見直しを行った。

【岡崎西尾ブロックの動き】

平成11年2月

「岡崎市」「西尾市」「幸田町」「額田町」「一色町」「吉良町」「幡豆町」の2市5町（その後の合併により2市1町）で構成する岡崎西尾地域広域化ブロック会議を設置。

平成17年3月

「岡崎西尾地域ごみ処理広域化計画」を策定。岡崎西尾ブロック内にある4箇所（岡

崎市中央クリーンセンター、八帖クリーンセンター1号炉、同2号炉及び西尾市クリーンセンター)のごみ焼却施設を統合し、2施設への集約化を目指すこととした。

平成23年7月

「岡崎西尾地域ごみ処理広域化計画」に基づき、旧中央クリーンセンターと八帖クリーンセンター2号炉の集約施設として、岡崎市中央クリーンセンターの供用を開始。

平成25年2月

次期施設更新に向けて、現在の状況におけるごみ発生量見込みを推計。その数値に基づく新施設の処理能力や施設更新時期を平成37年度以降で検討・協議していくこととする「岡崎西尾地域ごみ処理広域化計画」の概要の見直しを行った。

平成26年11月

岡崎西尾地域広域化ブロック会議(2市1町の首長による)を開催。平成25年度以降の協議結果を確認した。

- 1 平成42年度に岡崎市八帖クリーンセンター1号炉及び西尾市クリーンセンターを統合した広域新施設の供用開始を目指す。
- 2 広域新施設で広域処理を行っていく品目は、「ごみ焼却施設で処理を行う物」とする。
- 3 広域新施設での組織体制は、「事務の委託」を第一優先とする。
- 4 剪定枝等は広域処理を行わず、各市町により対応することとする。
- 5 広域新施設の立地エリアは、地域住民の利便性、収集・運搬の効率性などの立地選定の諸条件及び前期更新施設の岡崎市中央クリーンセンターとの位置的バランスを考慮して検討する。

平成28年6月～

西尾市クリーンセンター敷地内に、広域新施設が建設可能かどうか調査業務を実施。調査結果は、300t/日規模の施設の建設は可能であり、「建設候補地のひとつとなり得る」との結果であった。

平成30年8月～

岡崎西尾地域における広域新施設の立地場所となる候補地を選定するため、適地選定業務を実施。法制約条件や収集運搬効率、敷地面積、周辺条件などから候補地の点数化を行い、各市町最も点数の高かった1箇所ずつを候補地として選定した。

令和元年5月

以下の内容を確認し、現西尾市クリーンセンター敷地を岡崎西尾地域における最有力候補地とし、関係者への調整及び合意形成を諮っていくことを、本ブロック会議幹事会で決定した。

- 1 存続する岡崎市中央クリーンセンターの施設能力を考慮すると、広域新施設で処理が必要なごみ量は、概ね、岡崎市（幸田町含む）：西尾市＝1：2の比率となり、西尾市から発生するごみ量が多いこと。
- 2 平成30年度「岡崎西尾地域ごみ処理施設適地選定業務」において、現西尾市クリーンセンター敷地が最も高い評価となったこと。
- 3 平成28年度「広域新施設立地場所選定に係る調査業務」において、現西尾市クリーンセンター敷地内で、300トン／日規模の焼却施設の建て替えが可能であるという結果が出ていること。
- 4 現西尾市クリーンセンターは隣接地に温水プールがあり、ごみ焼却処理により発生するエネルギーの有効活用として、発電だけでなく余熱利用等の選択肢が増えること。

【今年度の西尾市の動き】

令和元年6月13日

西尾市クリーンセンターモニター及び地元町内会長の24名を対象に会議を開催し、岡崎西尾地域ごみ処理広域化の進捗状況を説明した（5月に開催したブロック会議で決定した方針を報告）。

令和元年6月17日

西尾市議会経済建設部会（6月臨時）にて、岡崎西尾地域ごみ処理広域化の進捗状況を説明した（5月に開催したブロック会議で決定した方針を報告）。

令和元年6月20日から10月15日まで

全市民を対象に、11会場で令和元年度「市長と語る市政懇談会」を開催し、市長が令和元年度施政方針に掲げる主な事業の1つとして、「岡崎市、西尾市、幸田町で協議を進めている広域新施設の建設に向け、立地場所を決定し令和12年度の供用開始を目指す」ことを情報発信した。

令和元年10月24日から11月30日まで

地元7町内会を対象に、岡崎西尾地域の既存施設、広域新施設の想定、広域新施設の立地場所選定、広域新施設の建設に向けたスケジュールを説明した。